

第 4 回大橋川周辺まちづくり検討委員会 委員付箋記入内容一覧表

委員名	箇所	内容
有光	表書き	提案 - 委員会 決定 - 行政・河川管理者
有光	P1	行政・河川管理者が提案となっているが、提案の主体が分かりにくい。
有光	P1, 4 行目	決定するのは誰か。
飯野	P1, 1 行目	「治水の歴史をふまえて」というのはどこまでを前提と考えることなのか？（過去のいきさつ）
飯野	P3, 上流	「洪水の大きなリスクをなくすよう」は、「リスクを下げるよう」という意味ですよ。
飯野		まちづくりを進めるにあたっての優先順位を委員会としてどのように考えるか？
飯野		今後の進め方において、最下流の米子、境港の人々の意見はどのように反映されるのか。
泉		現在すでに進行している大橋川周辺まちづくりのあり方が、人工の構造物により損なわれている現状を阻止すること。
泉		景観に対する視点は、部分的な視点と同時に専門委員の報告にもあるように大景観の視点も極めて重要と考える。
泉		生態系の問題は、別の委員会の検討結果の情報も知りたい。
泉		景観・環境に対する「配慮」という表現は弱すぎる。積極的最大の維持と復元する強い意図を明示する。その為には、法的規制を含め、又、市民感情を尊重しながら。
木村	上流の基本方針	「生活空間」では意味が狭すぎないか。まち、にぎわい、交通も含む意味に。
木村	上流の基本方針	「松江に住む・・・風情や静かなたたずまいのあるまちを創出します」文章の整理が必要
木村		文章のつながりが不明確。・・・が、・・・
木村	中流の基本方針	「環境学習の場としてなど・・・」文章の整理が必要では？
木村	下流の基本方針	下流域のみにこの文が入る理由の説明が必要では？
林	上流の基本方針	「風情や静かなたたずまい・・・」「現在の風情を大切に・・・」抽象的で具体性に欠けると思いますが、今を再現出来るとは思われません。
林		立場上、大橋の架け替えをしない事を主張してきた。すべて架け替えありきの話が、他に方法は無いのか？変えて街作りになるのか？
林	今後の進め方	全体の工事期間について ・期間中の観光客の入り込み減少予測はいかに？ ・経済波及の予測は？ ・事業の直接的な影響を受ける人への配慮とは？
布野		改修によるメリット、インパクトは 経済効果、観光への効果、まちづくりの基本戦力は？ 方針
布野	上流	：大橋～新大橋間の北岸と南岸は一体的な景観とするor北岸：旧、南岸：新という対比的にするか。
布野	上流	：大橋～新大橋間と新大橋～くにびき大橋間を対比的（新旧）としたらどうか。
布野	上流	：宍道湖大橋～大橋北岸をどうするか 断面設計、浸水性、眺望（夕日）、管理用道路
布野	上流	：くにびき大橋～宍道湖大橋間の両岸を歩けるようにする（松江駅からも含め）
布野	上流	：を舟でつなぐ。また堀川遊覧とつなげられないか。また宍道湖遊覧と接続できないか。船着き場のネットワーク。ホーランエンヤの日常化。どういう仕掛けが可能か。
布野	上流	：釣り場の数、位置、多くつくる。そのデザイン、ネットワーク
布野	上流	：視点場のネットワーク。（船着場）（釣場）（視点場）などのネットワークを上手く配置する事が大事ではないか。
丸		この形式で提案することに賛成です。
丸		「親水」「遊水」「敬水」の視点で現状の風情・魅力を尊重する基本は賛成です。
丸		新しい景観の創出、形成、人々のにぎわいに必須の市街地形成、商業活動活発化の視点を加えてほしいです。
丸		地域で植樹の議論をする。